



2021年7月11日主日共同礼拝メッセージ

日本同盟基督教団 クリスチャンプレイズチャーチ

【聖書に約束されている神の祝福を頂ける道】

今日の聖書本文:申命記28章1-9節/暗唱聖句:サムエル記第一15章22節 説教:鄭南哲牧師

(Rev. Jung nam-chul)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！梅雨が続けている中一週間も主の平安のうちに皆お元気でしたか。お変わりなかったでしょうか。梅雨中続いている蒸し暑さに皆様の御家庭と全生活の上に神の御守りと豊かな御恵みが注がれ満ち溢れますように切にお祈り申し上げます！

<1. 神様に祝福されるために我々はどんな人になるべきでしょうか。>

神様を信じるみなさんは最近どんな神の祝福を願い、必要としていますか。どうすれば、聖書に約束された神の祝福をどう頂けるのか。神様はどんな人々を祝福されるのでしょうか。神様の御言葉である聖書はどんな人が神の祝福を受けると語っていますか。

まず、申命記28章にはいろいろな祝福が約束され語られています。その神の祝福にどんな祝福があるかまとめてみると、世界のあらゆる人々の中で高く上げられる神の祝福(28:1)、神のすべての祝福が与えられ、ついて来る祝福(28:2-3)、子孫と環境の祝福(28:4)、神の祝福の通路となる祝福(28:6)、神の保護と勝利の祝福(28:7)、物質と手のわざの祝福(28:8)、神の聖なる民となる祝福(28:9)、天の倉が開かれ、時にかなった恵みの祝福、多くの人々に分け与える祝福(28:12)、かしらとならせ尾とならない祝福(28:13)などが約束され書かれています。みなさんもこのような祝福を望んでいますか。するといったいどんな人が、どうする人がこれらの約束されている神様の祝福をいただけるのでしょうか。今日の本文である申命記28章1-2節「1もし、あなたが、あなたの神、主の御声に確かに聞き従い、私が、今日あなたに命じる主のすべての命令を守り行うなら、あなたの神、主は、地のすべての国々の上にあなたを高くあげられる。2あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従うので、次のすべての祝福があなたに臨み、あなたについて行く。」にその答えは明らかに書かれています。どうすることでしょうか。そうです。神様は神様の御言葉に従う人々にこのようなすばらしい祝福を約束しているのです。

神様は従う御自分の御民を祝福されることをたびたび約束されました。

申命記5章29節です。「彼らの心がこのようであって、いつまでも、わたしを恐れ、わたしのすべての命令を守るようになってほしい。そうすれば、彼らもその子孫も永久に幸せになる。」

反面、みなさん、申命記28章15-19節には従わない者が受ける神ののろいをも詳しく神は約束され記録されています。申命記の御言葉をとおして神様はイスラエルの民に、そして、今日の我らにもその選択を命じられました。中間がありません。どっちか一つだけです。従うか従わないかしかありません。生きておられる神の御前で二つの中で一つだけを我々は選び取らなければなりません。神の御言葉に心から従うことにより約束された神のすべての祝福を受けるか、従わないで自分勝手に生きることで苦しめられ、呪われた人生の道のりを歩むのかを神の御前で選ばなければならないことを神様はおっしゃっていることが分かります！

ですから、神を心から信じる者たちが神の祝福を実際頂くために、一番必要で大切なのが神の御言葉に従う信仰の姿勢！謙遜な姿勢の表しである従順！こそ、一番信じる者たちに神が望んでおられ、喜ばれることであることが分かります！！従順とは何でしょうか。従順とは神の命令、神様の御心と御言葉を信じて、謙遜に従うことであることが分かります。

E.M.バウンズという先生は「従順とは神の御心を喜んで従うことであり、その方の命令を命のように守り行うことである。」と言いました。つまり、神の命令と御言葉に従うためには、自分の思い、欲望をおろし、自分の生き方ややり方をおろし、神様が命じられた御言葉こそ、完全で、自身の祝福の源であると信じ切って、即刻(そっこく)、心から従うことです。

ところが、愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！

神の御言葉に心から従う従順とは決してたやすくできるものではないということではありませんか！去った今年の半年！神様の御前で神の御言葉に対してどう反応して来られたのでしょうか。従って来たかどうか、だれよりみなさんご自身が一番よく知っていると思います。

<2. 実際神様の御言葉に従って祝福された人々>

聖書には自分より、人の言葉より、神様の御言葉を信じ、従うことにより実際、すばらしい祝福を受けた人々が記されています。アブラハムは神の命令と御言葉に従い、神の祝福をいただいたとヘブル人への手紙に書かれています。「信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、これに従い、どこに行くのかを知らずに出て行きました。(ヘブル人への手紙11:8)」

そしてアブラハムは一人子イサクをいけにえとしてささげるように神様が命じられ試された時さえも、神に従おう

とした時、神様は彼に大いなる祝福を与えて下さいました。「16こう言われた。「わたしは自分にかけて誓う一主のことば一。あなたがこれを行い、自分の子、自分のひとり子を惜しまなかったので、17確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。18あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。あなたがわたしの声に聞き従ったからである。」(創世記22:16-18)

新約聖書で印象的なのは、神様が創造された始めの人であったアダムの不従順とイエス様の従順についてこのように書かれています。

「すなわち、ちょうど一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、一人の従順によって多くの人が義人とされるのです。(ローマ人への手紙5:19)」

聖書にアダムの罪は不従順の罪だったと神は判定しています。人類始めの人であるアダムの不従順によって、人類が罪と呪いの裁きに置かれたのに、神様はその呪いに置かれた人々を愛し、救うためにその罪の代価として御子イエスキリストが神様に従って、十字架をせおうことにより多くの人々が義とされたとのことです。

ピリピ人への手紙2章8-11節にはイエスキリストの従順とその結果についてこう語って下さっています。ご覧ください。

「8(キリストは)人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまでも従われました。9それゆえ神は、この方(キリスト)を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。10それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかかめ、11すべての舌が、「イエス・キリストは主です。」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。」

ですから、みなさん! 神様の御言葉に対して従うことはこんなに大事です。従順は、我々の残りの人生を神の祝福を頂けるかどうかそれを左右する大切な選択肢であり、信仰生活においてかならず抱くべき姿勢であることを忘れてはいけません。

<3. 問題は? 従順がたやすくはない!>

しかし、愛する信仰の家族のみなさん! 問題は何かですか。なかなか従えないことです。罪の本性を持っているため、神の御言葉通りに聞き従おうとするよりも、自分の思うまま、自分勝手に生きようとする傾向が強いのです。そこに絶えず葛藤と戦いがあります。

愛するみなさん! だからこそ、尊い姿勢だと言えるでしょう。我々は神様に従うより従わないで自分勝手に生きることがもっとたやすく簡単であることを経験通して知っています。聖書は、人間の墮落した本性の中にアダムの犯した罪に従ってつねに不従順しようとする意志と思いが我々人にあると指摘しています。そういうわけで、神様に従わない生活はどんな訓練も、努力も必要ありません。却って神の前で不従順することが我々にはもっと自然的です。

神様の御言葉と命令に従う姿勢と品性の模範、それがイエス様の姿です!!

ですから、我々がイエスキリストを受け入れ、信仰を持ち始めると、我々の中に残っている不従順の本性とイエス様のように生きようとする本性が引っ張り合います。その時、従順の方がもっと強くなると神に従い、不従順の方がもっと強くなると不従順の傾向に走るようになるのです。その結果がまさに我々の生活の実として表されるのです。神に従う者こそ、神様に愛されると聖書は約束して下さいます。

「わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。わたしを愛する人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身を彼に現わします。」(ヨハネの福音書14:21)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの全信仰の家族のみなさん!

神様が我々に何かを命じ、仰せられる時、覚えるべきことは、神様の御言葉と命令は我々を束縛するためには決してありません! それは我々のためなのです! 結局我々が祝福され、益をもたらせるためであることを覚えましょう。神は愛なるお方です。その愛の神様が我々に何かを要求される時、神様の本当の心は我々のためにその命令をくだされるのです。みなさんは、神様の御心こそ完全であり、すばらしいものであることを信じていますか。神様の御心は我々のためであって、神様の全ての命令は我らに向かう愛から出たものであることを信じますか。

神様が従うことを命じ、仰せられたのは神ご自身のためではなく、我々のためでした。神様は我々が従うか否(いな)か、関係なく十分であり、全能な方です。我々の従順や不従順によって神の神なることが変わるものではありません。ですから、我々は深く考えなければなりません。我々に従順を命じておられるのは我々の有益と幸せのためであることを。

<4. すると、どうすれば従える人生となれるのでしょうか。>

どうすれば、後残りの半年、もう一度神様の御言葉に自ら進んで従えるでしょうか。

もちろん、神様の御言葉と命令が何であるか、何より神様の御言葉をたくさん読み、学ばなければなりません。

(年一度聖書の各種道コースを学びましょう。)

神様の御言葉と命令、そして我々に対する神の御心はすでに聖書に全部書かれています。神様から直通で自分に特別に特別な体験を通して語られ、命令を受けたと誇らしく証しする色々な方々の証しを読んだり、聞いたことがあります。正直に言いますと、私はそのような方々に出会い話を聞くたびに、決してうらやましい気持ちはまったくありませんでした。

それよりも、御言葉で不十分だったため、神様があんなふうにまで特別な方法で知らせなければならなかったのか。神様がどんなに哀れながら教えて下さったのだろうか。すでに、聖書を通してすべて知らせて下さっている内容なのに、... 神の御言葉に対する無知とその御言葉通りに従って体験出来なかったため、特別な方法じゃなければならなかったのではありませんか。

なぜ、あの方は神の御言葉だけで満足できないのか。十分だと信じてないのだろうかという気持ちになります。神の御言葉の中には一度だけではなく、すべて神様の御心が記されているのに、その確実な神の約束の御言葉には従わず、どうして新しく、特別な方法を探し、それを自慢話とし喜んでいいのか。

今日の時代に我々に一番大切な信仰とは何か御存知ですか。何かくすしい奇跡や特別な経験、体験談ではなく、“わたしに神様の約束の御言葉だけでも十分です！”という信仰です。この神の御言葉にしっかり根ざした信仰さえあれば、我々の人生は揺るがなくて従って生きることができます。

みなさんは神様が我らの祝福された人生となるために、与えて下さった一番大切な神の御言葉を読み、学ぶためにどれだけの時間を与えているのでしょうか。我々の教会のみなさんは神の御言葉と命令とは何かよく御存知ですか。今年の後残りの半年、私とみなさんがさらに従うことにより神様からの豊かな祝福をいただく一年となりたいなら、私に対する、我々に対する神様の御言葉と命令である聖書に戻って謙遜に学ぶべきではないでしょうか。そうするとき、ようやく我々は正しい従順の道を歩めると信じます。アーメン!

もう一つ、どうすれば神の命令と御言葉に従う人生になれるのでしょうか。

神様を一層、もっと愛することです。 従順は愛の実です。愛すれば簡単です。神を愛すれば神様の願われることをむりやりにするのではなく、自ら進んで喜んで従うことです。神様はそのような従順を喜んでくださいます。

「あなたがたは、もし喜んで聞こうとするなら、この地の良い物を食べることができる。」(イザヤ1:19)

神様は使徒パウロを通して愛され、神様との関係だけではなく、愛する人との関係の中で愛し合うことが保たれる秘訣が従順であることを強調します。

エペソ人への手紙5章22-33節では、幸福な結婚生活の秘訣について、従順と犠牲的な愛にあることを教えて下さっています。「妻たちよ。主に従うように、自分の夫に従いなさい。23キリストが教会のかしらであり、ご自分がその体の救い主であるように、夫は妻のかしらなのです。」

妻が夫に愛される秘訣は夫に対する従順を覚えて下さっています。使徒パウロはいつもキリストイエスにあって夫を尊敬し、心から従うようにと命じて下さっています。

そして、幸福な夫婦生活のもう一つは、夫の犠牲的な愛です。

「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。」(エペソ5:25)

「同様に夫たちも、自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する人は自分自身を愛しているのです。」(エペソ5:28)

妻は夫に愛を強要せず、夫が色々足りなくて、弱くても、夫を神が立たせて下さった我らの家庭のかしらとして認め、いつも子供や家族、他人の前で夫を尊重し、夫の権威を認め、従う時に夫から愛されます。同時に、夫も妻に愛を無理やりに強要しないで、人を愛するがゆえに、愛の残るところなく、惜しまず、御自身の命と全てを十字架に明け渡したイエス様の愛の姿を見習い、どんなに弱く、足りなくても、まず妻のために、どんな犠牲を払うことになっても、惜しまず妻の存在を大切に、愛するときこそ、妻の尊敬と愛を受けられます! 愛の従順と責任と犠牲を伴う愛が両方ともに伴っているとき、幸せな結婚生活、夫婦生活が守られていくことを覚えておきましょう。

愛するクリスチャンプレイズチャーチ信仰の全家族のみなさん! どこに行っても愛される秘訣は従うことです。従う時こそ愛されます。神の御心、御言葉に従う時、一番神に愛され、祝福されます。神に、従うべき人々に従う人たちの態度はいつも柔らかくて表情も温和です。半面、不従順する人々の態度は頑固で、きつく、表情もかたいです。

みなさん、従順は愛の実であり、愛される秘訣であることを今日もう一度覚えておきましょう。

アメリカの有名なアンドリュ・マレイ先生は、次のような有名な言葉を残しました。

「地上での従順は天にある神の愛の座に入れる鍵である。」

神様は神の人を選び、その人を通して働かれる時決してほかの条件や背景をご覧になりません。

ただ、大切な一つ! 神様の御言葉に従う人々を御言葉の御約束通り祝福し、また尊く用いられました。

今日我々もサムエルが切にサウル王に語った神の言葉に耳を傾けるべきではないでしょうか。

「サムエルは言った。「主は、全焼のいけにえ物やいけにえを、主の御声に聞き従うことほどに喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。」(サムエル第一15:22)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん!

2021年下半期が始まっています! 残りの今年、今日から、もう一度改めて、神様の御前で、神の御言葉のすべての祝福がみなさんの人生、家庭に全て成し遂げられるように、謙遜にヘリ下さって従うことにより、いままで味わえなかった神様の豊かな祝福を味わえる全信仰の家族となりますように我らの救い主イエスキリストの御名によって祈り申し上げます! アーメン!